

我孫子市親子のありがとう集

～ うれしかった不登校対応事例 ～

不登校の子どもを持つ保護者の「うれしかった事例」をまとめました
私のうれしかったが、明日の誰かのうれしいにつながりますよう！



2023年度

はじめに

2023年度は我孫子市内のすべての中学校、および新木・湖北・並木の小学校3校に校内教育支援センターが設置されました。ご尽力くださった我孫子市教育委員会、我孫子市役所、我孫子市市議会議員の方々、関係各所のみなさま、本当にありがとうございました。

文部科学省が公表した令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果によると、不登校者数は小・中学校29万9048人(前年度24万4940人)で前年度より22.1%増加、高等学校6万0575人(前年度5万0985人)で前年度より18.8%増加しています。

2023年3月には、文部科学省から誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策 COCOLO プラン(※)が発表されました。このプランは、子どもたちが不登校となっても学びを継続し社会で活躍できるよう、行政だけでなく、学校、地域社会、各ご家庭、NPO、フリースクール関係者が、相互に理解や連携をしながら、子どもたちのためにそれぞれの持ち場で取り組もうというものです。私たちトイロは、その持ち場のひとつとして、不登校・行き渋りの当事者と親が、社会と関わりながら元気になる楽しめる活動をしています。


本冊子は不登校のお子さんを持つ保護者の方から、学校の先生にしてもらって嬉しかった事例を集めたものです。寄り添うような言葉かけだけでなく、ICT活用事例もあります。ぜひ学校の先生方が不登校児童・生徒の対応で困ったときに、この冊子を手にとり、参考にさせていただけると幸いです。先生方、いつもありがとうございます。

※ COCOLO プラン

https://www.mext.go.jp/content/20230418-mxt_jidou02-000028870-cc.pdf




○先生向け不登校対応の困ったお助けツール

 千葉県版児童生徒・保護者のための不登校サポートガイド

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/seitoshidou/ijimemondai/documents/r5saportgaido2.pdf>



 千葉県教育委員会

合理的配慮事例集 ～小中学校の通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒の事例を中心に～

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shien/tokubetsushien/gouritekihairyojireishuu.html>



目次

1	学校のプリントをアプリ配信してくれた.....	5
2	大事なのはテストの点数ではないと教えてくれた.....	5
3	イヤーマフを教室で安心してつけられる環境作りをしてくれた	6
4	学校に行けないダメな人間とまで言っていた子の気持ちを切り替えてくれた	6
5	教室や保健室で安心して休めるよう保証してくれた	7
6	子どもの言葉を信じ、学校に行こうとする姿勢を認めてくれた.....	8
7	交流級の担任の先生が自然なコミュニケーションをとってくれた.....	8
8	交流級の座席の位置を配慮してくれた.....	9
9	運動会で不安を感じないように対応してくれた.....	9
10	フリースクールの活動を「すごくいい経験だね！」と認めてくれた.....	10
11	人に助けを求めても大丈夫なんだと教えてくれた	11
12	校外学習で聞こえの困難さに寄り添う対応をしてくれた	12
13	学習意欲が出てきたとき、授業をオンラインで配信してくれた	13
14	時間割を Teams で共有してくれた.....	13
15	放課後の教室で、学びの時間を作ってくれた	14
16	校内で担任の先生以外の先生も声かけや応援をしてくれた.....	14
17	心の教室と担任の先生が連携して、図工やテスト等ができるようにしてくれた	15
18	子どものペースでの登校を応援してくれた.....	15
19	心の教室で、子どもの関心に合わせた対応をしてくれた	16
20	林間学校の前に、おすすめポイントを話してくれた.....	16
21	特別支援教育のための漢字教材を紹介してくれた	17
22	子どもの適正にあった漢字ドリルのやり方を提示してくれた	17
23	学校の先生との繋がりを再び芽生えさせてくれた.....	18
24	修学旅行のしおりを視覚優位の子ども用に作成してくれた.....	18
25	デジタル教科書を使用させてくれた	19
26	新聞記事を PC で書けるようにしてくれた.....	19
27	書字を求めず、iPad を活用させてくれた	20
28	学級全体にバリアフリーの考え方を伝えてくれた	20
29	子どもに先生への信頼感を育んでくれた	21
30	デジタル化したワークブックを活用させてくれた.....	21
31	到達度テストを iPad で受験させてくれた	22
32	高校受験書類に合理的配慮を適用してくれた.....	22
33	担任の先生と教頭先生が親子セットで支えてくれた.....	23
34	進路を急かさずにそっとしてくれた.....	23
35	私服で登校したときに担任の先生も校長先生もあたたかく接してくれた.....	24
36	通学方法を配慮してくれた.....	24

37 通知表とは別で学期ごとに子どもの様子をまとめてくれた	25
38 コミュニケーションカードを使ってやりとりしてくれた	25
39 家庭訪問時に事前に「無理に出てこなくていいよ」と言ってくれた	26
40 校外学習の全行程について参加できるかどうか確認してくれた	26
41 担任の先生が子の障害特性のテレビ番組をみてくれた	27
42 オンライン授業の参加についてわかりやすく教えてくれた	27
43 オンライン授業で使う教科書以外の教材の共有方法を考えてくれた	28
44 担任の先生と生徒さんが協力してリモート授業に対応してくれた	29
45 定期テストにチャレンジさせてくれた	30
46 各教科の先生が子どもの苦手を理解し、授業の取り組み方を配慮してくれた	31

本冊子は Web サイトから PDF ファイルをダウンロードしてお使いいただけます。



ありがとう集ダウンロード



https://drive.google.com/file/d/1McCgm8OLu45btwvSUjAelQuBuF73XRS-/view?usp=drive_link

ダウンロード版活用方法 ～ 検索して事例を探しましょう ～


事例ごとに検索タグ（#〇〇）を設定しています。PDF ファイルを使用される方は、「#小学校」「#高学年」「#中学校」「#漢字」「#校外学習」などを入力し、キーワード検索して気になる事例を探することができます。

1 学校のプリントをアプリ配信にしてくれた

#小学校 #ICT

  困っていたこと

プリントのもらい忘れや学校の状況がわからなかった。

 うれしかった対応



アプリ配信で学校の様子がわかるようになった。

不登校への対応というわけではないのですが、学校の働き方改革の一環で、ペーパーレス化として、メールがアプリ配信になったことが嬉しかったです。不登校だったり行き渋りだったりすると、プリントのもらい忘れや学校の状況が全くわからないなどの不安が常にありました。これからは、アプリで配信されるため、連絡を知らないことがなくなる安心感があります。


我孫子市内でも対応している学校とそうでない学校があるそうなので、全ての学校で採用して欲しいと感じます。

2 大事なものはテストの点数ではないと教えてくれた

#小学校 #低学年 #テスト

  困っていたこと

テストが100点でないと気分が悪くなり帰りたくなっていた。

 うれしかった対応



次からは点数をつけないことを約束して不安を解消してくれた。

テストの点数が100点でないと許せない我が子、学年が上がり、担任の先生と本人で話して100点以外も点数を付けてみることにしましたが、いざ、付けられた点数を見たら気分が悪くなって帰りたくなりました。担任の先生に理由を話すと、その場でテストの点数をハサミで切り取り、次からは点数を付けないことを約束してくれました。普通はテストを切るのはいけないと指導することが多いと思うのですが、大事なものは点数ではないと点数の部分の切り取り、その場で不安感を解消してくれました。


嫌なことがあると不安が募り学校へ行けなくなることが多い子でしたが、先生を信頼し、また次の日から学校に通うことができました。

3 イヤーマフを教室で安心してつけられる環境作りをしてくれた

#小学校 #低学年 #聴覚

  困っていたこと

聴覚が過敏で給食の食器やスプーンの音などに疲れて具合が悪くなっていた。

 うれしかった対応

子どもが周りの理解のもと、安心してイヤーマフが付けられる環境作りをしてくれた。

聴覚過敏な我が子は、給食の食器やスプーンの重なる音、掃除の時に廊下に出た時の様々な音、授業中でも気になる音があるようで、疲れて具合が悪くなり、保健室でよく休ませてもらっています。



家では、賑やかな所に出かける時は、イヤーマフを使い、疲れない工夫をしています。

ある日、我が子が学校でもイヤーマフを使いたいと話してきたので、学校でも使いたいと担任の先生に相談しました。心よく許可して下さい、他の子への説明は、聞かれた時に自分で伝えたいという我が子の気持ちを尊重して下さい、見守りとフォローして下さいの事になりました。


初めて学校で使う日どうなるのかとてもドキドキしましたが、1年生なので、周りは「貸して～」という自然な感じだったようです。しばらくすると、イヤーマフを付けることがあたりまえになってきているようでした。信頼できる先生がいて、イヤーマフをつけられる環境に安心感が増したようです。いつも温かく見守りながら、個別の配慮をして下さる事にとっても感謝しています。

4 学校に行けないダメな人間とまで言っていた子の気持ちを切り替えてくれた

#小学校 #低学年

  困っていたこと

みんなと一緒に授業を受けたくても、思うようにいかずイライラしていた。

 うれしかった対応

担任の先生の一言で子どもが前向きになれた。

行き渋りや不安が強くて、学校まで行っても教室に入れず帰宅することや、校門あたりで気持ちが崩れてなかなか下駄箱までいけないことがあります。みんなと一緒に授業を受けたくて出発していますが、本人も思うようにいかず、イライラしています。

そんな時、担任の先生は、いつも「頑張ってきたんだね。会えて嬉しいよ。ありがとう。」と、頑張りと存在自体を認めてくれます。先生にお会いするまでは「学校には誰も頑張りやを認めてくれる人がいない。毎日凄く頑張っているのに伝わらない。学校に行けないダメな人間は存在する意味はない。」とまで言っていた子が、気持ちを切り替えて、今日は休息日、気持ちが落ち着いてから教室に行くと、出来なかったことを引きずりすぎることなく、自ら選択できるようになってきました。先生の一言でこんなにも変わり前向きになれるのだと、ビックリしました。とてもありがたいことです。

5 教室や保健室で安心して休めるよう保証してくれた

#小学校 #低学年



困っていたこと

朝起きると吐き気や頭痛がして、遅刻や休む日が増えていった。



うれしかった対応

担任の先生と保健室の先生が連携して休息を保証してくれた。

小学校に入学して、ゴールデンウィーク明けから、朝起きると吐き気や頭痛がして、遅刻や休む日が増えていった。担任の先生に相談した所、授業で困った時に気持ちが悪くなるようで、その都度、教室や保健室で休ませてくれていた。

教育相談センターの心理士さんにも相談したところ、教室や保健室で休息する事を保証してくれている先生の対応が素晴らしく、そのままの対応でいいので、安心して休息を保証してあげることが大事とアドバイスを受けた。それでも疲れた時は、学校を休む事も必要と休むことを肯定してくれた。

担任の先生と保健室の先生が連携して休息を保証して下さり、勉強面でも板書をうつすのに時間がかかるので、書く量を減らしたり、漢字ドリルの繰り返し部分はやらないでいいなど、具体的に対応してくれたので、心配な事が少なくなり安心したようで、吐き気が減っていった。

困った時には、いつも話を聞いてくれる先生がいて、今では安心して学校で過ごせるようになり、とても意欲的に学んでいるように感じます。



6 子どもの言葉を信じ、学校に行こうとする姿勢を認めてくれた

#小学校 #低学年



困っていたこと

学校に行きたいという言葉に反して、校門前で吐き気と腹痛になり、で教室に着くのが難しかった。



うれしかった対応

吐き気などの状況よりも、子どもの言葉を信じ教室に到着するまで伴走してくれた。

学校に行きたいけど、不安が強いと校門前で吐き気と腹痛を訴えていた我が子。不安に勝つと、自ら意を決して、教室に向かおうとするも、下駄箱の前で泣き崩れ座り込んでしまいました。声を聞きつけて子どものそばに担任の先生が来てくれ、結局泣きながらハイハイで教室に入ったそうです。普通なら無理にでもやめさせることもあるかと思いますが、子どもの言葉を信じ、行動よりも頑張っている姿勢を認めてくれ、そのままにしておいてくれました。クラスの友達の応援もあり、教室に到着。安心したのか、吐き気や腹痛は治り、楽しく活動に参加することが出来ました。

帰宅後は「校門前で不安になっても、学校に行ったら大丈夫なこともあるんだね。頑張ってた良かった。楽しかった。」と、報告してくれ、前向きに捉えることが出来ました。

7 交流級の担任の先生が自然なコミュニケーションをとってくれた

#小学校 #中学年 #交流級



困っていたこと

学校で気になられすぎるとプレッシャーを感じていた。



うれしかった対応

交流級の担任の先生が自然なコミュニケーションをとってくれた。



今年からうちの子は支援級になり、ほとんどの時間を支援級で過ごしています。その中で、交流級の担任の先生が自然なコミュニケーションをとってくれることが、嬉しかったようでした。(変に気になられすぎるとプレッシャーを感じるタイプなので、遊びの感覚で接してくれたところが特に嬉しかったみたいです。)たとえば、「みんな(交流級)が音楽の授業のとき、先生が支援級に遊びに来てくれたの。」と嬉しそうに教えてくれました。

中でも、社会科で消防署の勉強をしていたとき、交流級の担任の先生が支援級まで来てくれて、学校の中の消火栓、消火器と一緒に探しに行ってくれたことがとても楽しかったそうです。聞いてみると、交流級の社会科で、消火栓と消火器を探すという授業に参加できなかったそうです。それを自然なかたちで補ってくれたようでした。


さりげなくフォローしながら、やりとりをしてくださった交流級の担任の先生に感謝しています。

8 交流級の座席の位置を配慮してくれた

#小学校 #中学年 #交流級

  **困っていたこと**

学年のお友達とは顔を合わせたくないという状況だった。

 **うれしかった対応**

交流級のクラスにずっと入りやすいよう座席の位置を配慮してくれた。



わが子は今年から支援級をメインに過ごし、ときどき交流級に行って授業を受けるというスタイルで過ごしてきました。その中で、担任の先生に交流級の座席の位置を、配慮してもらったのが、ありがたかったです。当初、学年のお友達とは顔を合わせたくないという状況でした。(どちらかというと、集団にうまくなじめないタイプです。)

その中で、時々交流級でも受けたい授業があったのですが、クラスにずっと入りやすい廊下側の、前後で言うと真ん中あたりに席をつくってくれました。ざわざわした音が聞こえるのが苦手ですが、後ろすぎても今度は先生の声が聞こえにくいという状況で、この位置にしてくださったようでした。そのあとも、どの位置だったら座りやすいか、入りやすいかを支援級の先生に伝えたりして、「自分がこのほうがやりやすいということも言ってもいいんだ」ということを知って、安心感につながったようでした。


子どもの特性を理解してくださり、対応していただいた先生方ありがとうございました。

9 運動会で不安を感じないように対応してくれた

#小学校 #中学年 #運動会

  **困っていたこと**

運動会の練習にあまり参加していない状態で参加してみる…と決めてしまった。

 **うれしかった対応**

支援級の先生が事前に進行表や配置図などのお手紙をくれて不安を感じないようにしてくれました。

あまり練習していなかった運動会でも、子どもが不安を感じないように学校の先生方に対応してもらえてよかったです。子どもは、運動会の練習にあまり参加しなくなかったようで、そんなに練習もしていない状態でした。でも、今年は運動会に参加してみる…と決めました。そんな中、支援級の担任の先生があらかじめ、進行表や配置図、先生がどこにいるかなどを添えたお手紙を用意してくれました。うちの子は見通しが立たないと不安を感じるタイプなので、あらかじめいただいたお手紙が本当に心強かったです。子どもにどこでどんな風に過ごしたいか相談し、先生に伝えることができました。

また、ほとんど練習していなかった踊りに出ることにしたのですが、本番でも交流級の先生が目の前でお手本を踊ってくれました。しかも、ものすごい本気の踊りで、子どもも先生を見ながら一生懸命踊って参加することができました。とてもいい思い出になったようで、感謝しています。

10 フリースクールの活動を「すごくいい経験だね！」と認めてくれた

#小学校 #中学年 #フリースクール



子どもの状況

学校とフリースクールの両方に通っている。



うれしかった対応

子どもの新たないい点を見つけられた
フリースクールでの出来事を学校の先生が
認めてくれた。

我孫子市ではないのですが、子どもが通うフリースクールで、夏休み中にお祭りの出店に参加させてもらったことがとてもいい経験になりました。子どもはハンドメイドのアクセサリーを販売したのですが、とても勉強になりました。どんなものだったら売れるのか、包装はどうするか、値段はいくらくらいがいいか、当日売り上げをわかるようにするにはどうすればいいかななどを自分で考え、準備を進めていました。うちの子どもは、計画がわからないと不安になるという特性があるのですが、逆に自分で綿密に計画を立てて実行することが得意なんだということがわかり、親としても新たな視点が得られて良かったです。ひとりで、販売に立っている姿を見て、(いつもはお母さんベッタリなので)「こんなにしっかりしてる時もあるのか！」とびっくりしました。

子どもの新たないい点が見つけれられる場所が、いろいろ増えるといいなと感じます。

学校の先生にも、このことを伝えると「すごくいい経験をしたねー！先生は小学校のころ、そんな経験したことなかったなあ」と認めてもらえたことで、とても自信に繋がったようでした。フリースクールの活動も認めて下さっている先生にも、感謝したいです。



11 人に助けを求めても大丈夫なんだと教えてくれた

#小学校 #中学年



困っていたこと

見通しが立たないことに不安を感じたり、失敗して怒られるのを恐れていた。



うれしかった対応

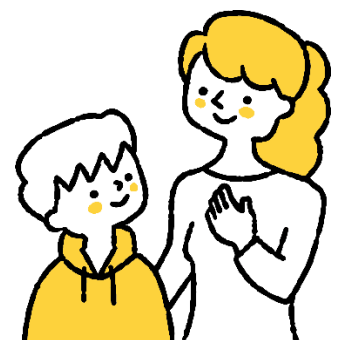
「できないことや困っていることがあったら、人に伝えられるようになろう」と、人に助けを求めても大丈夫なんだと教えてくれた。

支援級の担任の先生が、毎週お手紙を持って家に来てくれて嬉しかったです。去年はあまり学校に行けない状態でしたが、今年は気持ちが落ち着いてきて、週3～4学校に行き、週1フリースクールに行くという生活になりました。その中で、毎週末、支援級の担任の先生がお手紙を持って家に届けに来てくれて、嬉しかったです。

うちの子は予定がわからないと不安になる傾向があります。そのことを先生に伝えたら、来週の予定表を毎週持ってきてくれました。お手紙も添えてくれて、子どもは毎週そのお手紙を持って先生が来てくれるのを楽しみにしていました。幼稚園の下の子も、しまいには先生のことが大好きになってしまい、金曜の夕方ピンポンとなると、「〇〇先生だ！」ときょうだいで競争するように玄関に行く…というのが恒例になっていました。

子どもに「先生のどこが好きなの？」と聞いたら「失敗しても笑っているところ」と言っていました。先生自ら、「先生忘れんぼだから助けてね～」と弱み(?)を見せてくれていたそうです。失敗して怒られるのを恐れていた娘に、「できないことや困っていることがあったら、人に伝えられるようになろう」と、人に助けを求めても大丈夫なんだと教えてくれました。

学校のことがほとんど嫌いになっていたのですが、その中で好きな先生ができて、先生がいるから学校に行く！と言うようになりました。先生にはお手数をかけてしまい、大変だっただろうなあと感じつつ、本当に子どもにとってよい出会いがあり、良かったなあと感謝しています。



12 校外学習で聞こえの困難さに寄り添う対応をしてくれた

#小学校 #中学年 #校外学習 #聴覚



精神的な不安定さから聴覚過敏とAPD(※1)の症状が強く出ており校外学習の工場見学に参加することに本人が迷っていました。ざわざわしていると説明が全く聞き取れないかもしれない、と不安な気持ちを出してくれたので担任の先生とは事前に相談させていただき、本人の不安と困り、それに対する具体的な手立てとあるとよい配慮をお伝えしました。

当日は母同伴をOKにさせていただき、また、見学中は信頼している支援員の先生が付き添ってくださいました。聞こえに不安があるため視覚情報で補うためのコミュニケーションカード、筆談用のウェアブルメモ「wemo」(※2)とボールペンは本人だけでなく支援員の先生にも携行していただきました。

見学の際、支援員の先生が適宜カードを示して「わかる、わからない」「困っている、大丈夫」などを確認してくださったり、聞こえづらかった時には耳元で再度伝えてくださったりしました。支援員の先生のご対応にはとても感謝しています。保護者以外の支援者の方に困りを理解してもらい、必要な配慮をしていただけたことがとてもよかったと思っています。

この日はわが子が支援員の先生を独占する形になってしまい、担任の先生やほかの引率の先生方にはご負担が増えたのではないかと想像します。校長先生をはじめ関わったほかのすべての先生方に感謝しております。ありがとうございました。

※1 APD

聴覚情報処理障害(LiD/APD)とは、純音聴力検査で正常であるにも関わらず、うるさい所や、複数人数の会話、電話、接客、授業などの場面で聞き取りの困難を示す状態を指す言葉です。

引用:『当事者ニーズに基づいた聴覚情報処置障害診断と支援の手引きの開発』の公式ホームページ



<https://apd.amed365.jp/index.shtml>

※2 筆談用ウェアブルメモ「wemo」


<https://www.wemo.tokyo/>

13 学習意欲が出てきたとき、授業をオンラインで配信してくれた

#小学校 #高学年 #ICT

  **困っていたこと**

教室にはいけないけれど、先生の授業は聞きたい。

 **うれしかった対応**

Teams で授業の配信をしてくれ、教室が身近に感じられた。



子どもに学習意欲が出てきたとき、「教室には行けないけれど、先生の授業は聞きたい」との気持ちがありました。担任の先生にご相談したところ、teams での授業の配信を快諾してくださいました。その際「無理せず見たい時に見てくれればいいよ」と仰っていただき、親も気持ちが楽になりました。

配信では、授業の進度がわかることに加えて、クラスメイトが板書したり、先生とやりとりする姿が見られることで、教室が身近に感じられたようでした。


親が説明しようとしてもお互いいらいらしてしまうことがあるので、先生の分かりやすい授業に親も助かりました。子どもは注目を浴びるのが苦手なのですが、「パソコン画面は先生の方に向けてるから、みんなからは見えないよ。顔出さなくてもいいよ」と安心できる声かけをしてくださいました。

14 時間割を Teams で共有してくれた

#小学校 #高学年 #ICT

  **困っていたこと**

学校に行くかどうか分からない状態で、毎日時間割について電話でお伺いするのが恐縮だった。

 **うれしかった対応**



日常的に時間割を Teams に記載していただきました。

ほぼ学校に行かないことが続いていましたが、時間割が事前に分かると学校に行くか考えやすいことを担任の先生にお伝えしたところ、日常的に時間割を Teams に記載してくださいました。


行くかどうか分からない状態で、毎日時間割について電話でお伺いするのも恐縮だったのですが、Teams の記載は、他にお休みされた方にも役立っているようなので、気持ちが楽になりました。

15 放課後の教室で、学びの時間を作ってくれた

#小学校 #高学年

  **困っていたこと**

人がたくさんいる教室は苦手。

 **うれしかった対応**

放課後に教室での学びの時間を作ってくれた



週に一回程度、担任の先生が、放課後に教室での子どもとの時間を作ってくださいました。内容は本人の希望に合わせて、社会や家庭科などを学んだりしました。また、教室の近況や子どもの趣味を話題にして、たくさんお話していただきました。

子どもは最初は聞かれたことに答えるだけでしたが、だんだん自分から話すようになりました。時間の最後には、先生が子どもに「一緒に話したり色々できたりしたことが嬉しい」と伝えてくださいました。


お忙しい時間を割いて、子どもとの時間を作ってくださいあって、感謝しています。

16 校内で担任の先生以外の先生も声かけや応援をしてくれた

#小学校 #高学年

  **お子さんの様子**

担任の先生に会いに放課後の教室へ行くことがある

 **うれしかった対応**

他のクラスの先生や図工の先生が様子を見にきて、応援の言葉をかけてくれたり、作成した作品について一緒に完成を喜んでくれたりした。

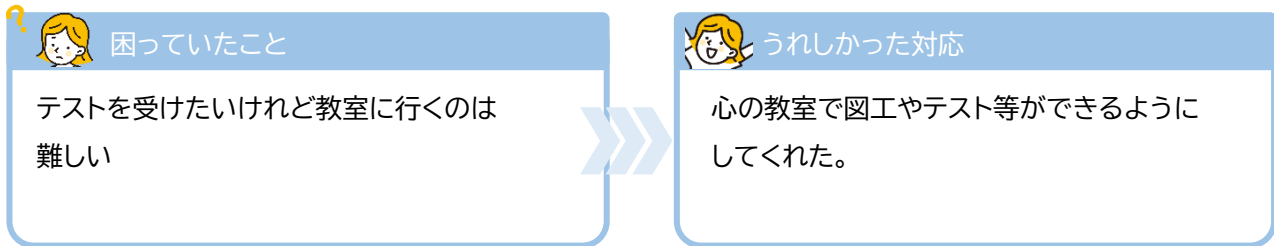
担任の先生に会いに放課後の教室へ行ったとき、他のクラスの先生や図工の先生が様子を見にきて、応援の言葉をかけてくれたり、作成した作品について一緒に完成を喜んでくれたりしました。

また、日中、廊下で通りすがりの学級支援員の方から、たびたび明るく声かけしていただきました。

普段は子どもと一対一で過ごすことが多いので、いろんな人が子どもに関わってくれて嬉しかったです。

17 心の教室と担任の先生が連携して、図工やテスト等ができるようにしてくれた

#小学校 #高学年 #心の教室



テストを受けたいけれど教室に行くのは難しいときに、担任の先生に相談したところ、心の教室で受けられるように対応してくださいました。

また、心の教室の相談員さんが、積極的に担任の先生と連携してくださり、図工などの教材を心の教室で作成することができました。

家ではなかなかやるのが難しい内容を学校内の居場所で行うことができてありがたかったです。

18 子どものペースでの登校を応援してくれた

#小学校 #高学年

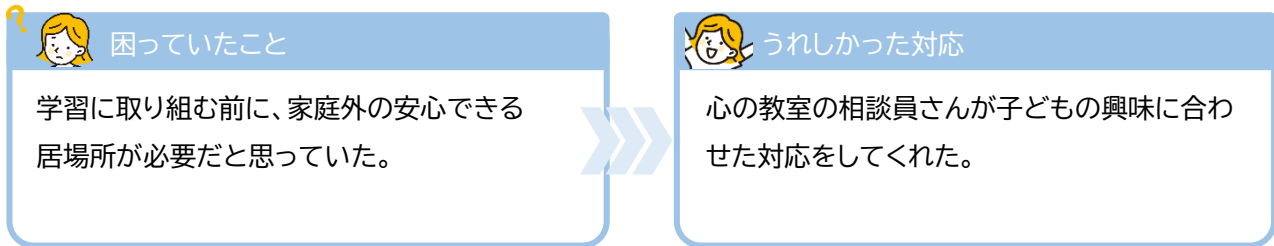


担任の先生が、登校を強いたりせず、子どものペースで学校に来れば良いと伝えてくれました。併せて、放課後に子どもと会う時間をもってくださり、折々に学校の様子などを伝えてくれたり、学びの時間を作ってくださいたりしました。

子どもの気持ちを大事にいただいたことで、子どもも先生と過ごす時間を楽しみにして、自分のペースで人とつながることができました。

19 心の教室で、子どもの関心に合わせた対応をしてくれた

#小学校 #高学年 #心の教室



心の教室の相談員さんが、UNO やオセロなど、子どもの興味に合わせてコミュニケーションを取ったり、地図パズルや四文字熟語カルタなどで興味を広げてくださったりしました。給食を相談員の先生と一緒に食べることもできました。学習に取り組む前に、家庭外の安心できる居場所が必要だと思っていたので、子どもに寄り添った対応をしていただけて嬉しかったです。

20 林間学校の前に、おすすめポイントを話してくれた

#小学校 #高学年 #林間学校





登校が少なくなっているころ、林間学校の前に、担任の先生が放課後子どもと会って、宿泊施設や体験活動、食事について、詳細を魅力的に話してくださいました。先生が楽しそうに伝えてくれるので、子どももにこにこして聞いていました。

また、「事前学習に参加しなくても、当日来てくれたら嬉しい」と伝えてくれました。


活動内容が事前に分かり、楽しそうに伝えていただけたこと、当日参加でも良いとお話しして下さったことで、林間学校に参加できて、楽しい時間を過ごせました。

21 特別支援教育のための漢字教材を紹介してくれた

#小学校 #高学年 #漢字

  困っていたこと

学校に行きづらくなる理由の一つに、漢字の学習があった。

 うれしかった対応

子どもが学びやすい漢字教材を紹介してくれた。

学校に行きづらくなる理由の一つに、漢字の学習がありました。

学校に行かなくなってしばらくは、学習に強い拒否感がありましたが、安定してくると、少しずつ学習に関心が向くようになりました。

漢字の書き取りを目指すのはハードルが高いので、「読めて、パソコン入力の際に正しい漢字が選べるようにできれば」と担任の先生に相談したところ、ONLINE の学習教材※を紹介してくださいました。

形のマッチングから始まるスモールステップで、子どもがどこまでできてどこからが難しいのか分かりやすい内容でした。

親が教材を探すのは難しいので、紹介していただいてありがたかったです。



ひとくちに漢字を覚えると言っても、いろんな要素があるのだなあとも親も漢字学習について新しい視点を持つことができました。

※漢字マスター_特別支援教育のための教材_特別支援教育デザイン研究会


<https://e-kokoro.org/kanji/>

22 子どもの適正にあった漢字ドリルのやり方を提示してくれた

#小学校 #高学年 #漢字

  困っていたこと

書くことが困難で漢字ドリルの宿題が大変だった。



 うれしかった対応

ドリル学習の方法や量を子どもに合わせて配慮してくれた。


書くことが困難なので漢字ドリルの宿題が本当に大変でした。担任の先生に相談したところ、子どもの適正にあった方法を提示していただき、漢字は声に出して読むことで覚える、書く練習は最低限で良いと意欲減退を防いでくれる配慮をしてくれました。宿題ができたかの確認は、iPad の録音機能を利用して声に出して読んだことを録音すると、担任の先生が確認してくれました。書く以外の方法を提示してもらえたことがよかったです。子どもにとっては、音声入力することも手間なことがあり、母親が代筆することもありました。どんな方法であれ、本人が宿題に取り組んでいることを、担任の先生が褒めてくれたのが嬉しかったです。

23 学校の先生との繋がりを再び芽生えさせてくれた

#小学校 #高学年

  困っていたこと

不登校期間が長くなり学校との繋がりが希薄になっていた。



 うれしかった対応

定期的に自宅に訪問して、興味深く子どもの様子を聞いてくれた。


定期的に自宅に訪問してくださる支援級の先生、子どもは先生と会うことが出来ていないのですが、毎回興味深く子どもの様子を聞いてくださいます。不登校期間が長くなり学校との繋がりが希薄になっていたのですが、先生のその熱心なお姿に子どものことをもっと伝えたいという気持ちが再び芽生え始めました。登校できていなくても分け隔てなくクラスの一員として見てくださっている事が嬉しく有難い気持ちで一杯です。

24 修学旅行のしおりを視覚優位の子ども用に作成してくれた

#小学校 #高学年 #修学旅行

  困っていたこと

小2から学校へほとんど行かない選択をして小6になった。

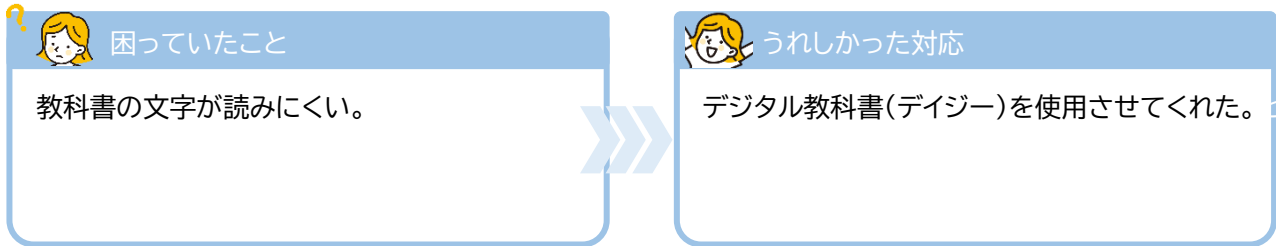
 うれしかった対応

支援級担任の先生が子どもに合った修学旅行のしおりを作ってくれた。

小2から学校へほとんど行かない選択をして、とうとう小6になりました。
小学校生活最後の年は修学旅行に参加したいとの希望があり、子どもの支援級担任の先生は、視覚優位の我が子のために、写真をたくさん入れて、文字も短く大きくして、わかりやすく書かれた「しおり」を作ってくれました。
旅程ごとにみんなと一緒に参加するのか、別の場所で参加するのか等、子どもの意見を尊重しながら対応をしていただきました。
先生の努力がたくさん詰まったしおりの成果もあり、無事に修学旅行に行くことができました。
小学校での思い出がひとつ増えた事、とても嬉しかったです。先生方の配慮ひとつで、子どもたちはこんなに変わります。

25 デジタル教科書を使用させてくれた

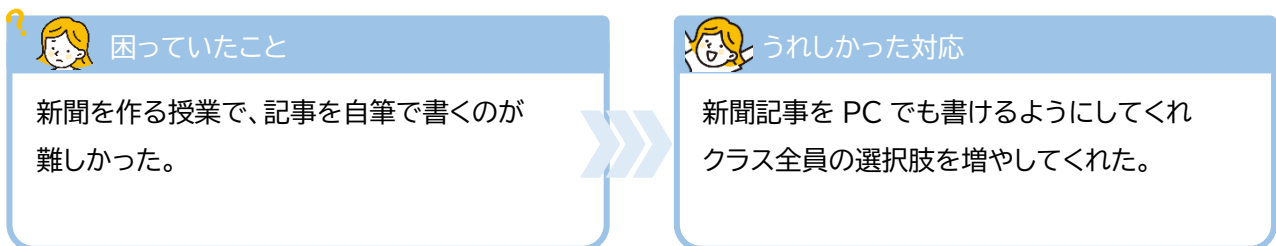
#小学校 #高学年 #学習障害



教科書の文字が読みにくく困っていた時に『デジタル教科書学習障害救う』の新聞記事を見て、「デージー教科書体験会」に参加しました。体験会では、子どもにとって、デージー教科書が通常の教科書よりもとても読みやすいことがわかったので、学校にデジタル教科書の利用を相談しました。学校から端末機器の配布はできないが、家庭で用意してくれるなら利用しても良いと校長先生の許可をいただき、活用できるようになりました。学校の対応が迅速で驚きました。

26 新聞記事を PC で書けるようにしてくれた



#小学校 #高学年 #学習障害




新聞記事を自筆で書くのが困難なのを理解してくれている担任の先生が、PC でも書けるように、新聞枠のデータを準備してくれました。『USB 持ってきたら、枠のデータを入れてあげるよ。』と言ってくれ、さらにクラス全員に『PC でやってみたい人がいたら、USB 持っておいで!』とチャレンジを促してくれた。自分だけが特別扱いではなく、みんなにとってもチャレンジであることを学級全体に言うてくれて嬉しかった。

27 書字を求めず、iPad を活用させてくれた

#小学校 #高学年 #学習障害

  **困っていたこと**

授業中にノートを書くことが困難だった。



 **うれしかった対応**

書字を求めず、iPad で授業の板書の写真をとらせてくれたり、Word を使って考えをまとめさせたりしてくれた。


担任の先生が本人に、書字を求めないでくれたのが嬉しかったです。せっかくタブレットがあるからと、「Word で書いてみたらどうだろう?」「やってみないと上達しないから、一文字でも一行でもやってみよう!」と提案してくれました。授業に参加していれば、必ず誉めてくれたことも本人の意欲減退にならずありがたかったです。

28 学級全体にバリアフリーの考え方を伝えてくれた

#小学校 #高学年 #学習障害

  **困っていたこと**

読み書き障害で日々の学校生活に困り感があった。

 **うれしかった対応**



学級全体にバリアフリーの考え方を伝えてくれた。

「デジタル教科書で授業が変わる」という新聞記事を担任の先生にお渡ししたところ、クラスみんなに向けて読んでくれました。皆違いがあること、やり方を変えればできること、困っていたら言っておいでという、配慮オール OK を担任の先生が、積極的に伝える姿勢がありがたかった。


また、テストの時にも「そのうちに、テストも『はい、できた人はメール送信してねー』という時代がくるかもね。」と話してくれ、バリアフリーの考え方を伝えてくれていたと思う。

29 子どもに先生への信頼感を育んでくれた

#中学校

  困っていたこと

学校に登校できていなかった。

 うれしかった対応

担任の先生が毎週電話をかけてきてくれ、ハマってること、困ってることを聴いてくれた。



担任の先生が、曜日を決めずに、毎週電話をかけてきてくださいました。子どもが電話口に出ると、学校の話はせず、今ハマってること、困ってることをメインに聴いてくださいました。子どもの中で先生への信頼感が育まれました。

登校出来なくても、どんな時も『クラスの一員』として対応してくださったことに、大変感謝しております。卒業式に勇気を出して出席し、しっかりとサポートしてくださったこと。一生忘れません。


先生と過ごした時間は、私たち親子の糧となって、新しい世界へ大きな一歩踏み出せました。本当に本当に、心から感謝しております。

30 デジタル化したワークブックを活用させてくれた

#中学校 #学習障害

  困っていたこと

ワークブックを自筆で書くのが大変で、量も多く困難だった。



 うれしかった対応

デジタル化したワークブックを活用させてくれた。


ワークブックの課題提出を自筆ですることと、量が多すぎて困難だったため、家庭でワークブックをカッターで切り取り、スキャナーでスキャンして、iPad で回答入力。それをプリントアウトしてファイルにとじて提出したところ、担任の先生が認めてくれた。量について相談したところ、できる範囲で良いと調整してくれました。

31 到達度テストを iPad で受験させてくれた

#中学校 #学習障害 #テスト

  **困っていたこと**

到達度テストの解答を自筆で書くのが困難だった。



 **うれしかった対応**

iPad を活用し、別室受験させてくれた。


到達度テストの解答を自筆で書くのが困難だったので、担任の先生に相談したところ、別室受験で解答は、解答用紙をスキャンして、iPad で解答入力。プリントアウトして提出させてくれました。自筆で書くのは無理だったので、自分ができるやり方でやらせてもらえ助かりました。本人としては、自分だけが違う方法であることがあまり好きではなかったようでした。

32 高校受験書類に合理的配慮を適用してくれた

#中学校 #学習障害 #高校受験

  **困っていたこと**

県立高校受験時に「志願理由書」「自己申告書」を自筆で書くことを求められたが困難だった。



 **うれしかった対応**

合理的配慮申請をして、PC 入力で書類作成し、願書と一緒に提出させてくれた。


県立高校受験時「志願理由書」「自己申告書」を自筆で書くことを求められたが、困難だったので、合理的配慮申請をして、PC 入力で書類作成し、願書と一緒に提出することができました。(受験する高校から、中学校を通じて一旦は断られたのですが。)本人が「合理的配慮の法律に基づいた 配慮をしてほしい」と望んだため、県教育委員会 教育振興部 入学者選抜に関する問い合わせ窓口へ「代筆による手書きを提出しなければならない合理的な理由を記した文書」を求める電話をしたところ、電話に出た方が、「大丈夫です」とお返事してくださいました。無事に受験することができました。

33 担任の先生と教頭先生が親子セットで支えてくれた

#中学校

  困っていたこと

学校のこと、進路のことを考えて、親として
疲れることがあった。



 うれしかった対応

担任の先生は子を。教頭先生は、親の私を
しっかりとサポートしてくれた。


担任の先生は子を。教頭先生は、親の私をしっかりとサポートしてくださいました。
学校のこと、進路のことを考えて精神的に不安定な子どもの毎日の対応は、親としては大変な労力です。
疲労困憊し、教頭先生に SOS を出すと、いつでも話をじっくり聴き、アドバイスしてくださいました。
子どもと親のセットで支えてくださって、心から感謝しております。

34 進路を急かさずにそっとしてくれた

#中学校 #高校受験

  困っていたこと

中学の授業を一度も受けずに中3を迎えた。



 うれしかった対応

進路を急かさずにそっとしてくれた。


中学の授業を一度も受けずに迎えた中3 のとき、進路を急かさずにそっとしてくれたこと。
12月の終わりに、急に通信制高校への進学を希望した時、受験の仕方を個別に時間を作って教えてくれた
上、すばやく書類を準備してくれたこと。
淡々と対応してくれたことで、こちらも落ち着いて手続きができ、進学できた。

35 私服で登校したときに担任の先生も校長先生もあたたかく接してくれた

#中学校 #制服

  困っていたこと

中学校に昼ごろ私服で登校した。



 うれしかった対応

制服を着ていないことにはひとことも触れずにあたたかく接してくれた。


中学校に昼ごろ私服で登校したとき「よく来たね」と迎えてくれて「校長先生に挨拶していきなよ」と校長室にも入れてくれた。担任の先生も校長先生も、制服を着ていないことにはひとことも触れずに、あたたかく接してくれたことが嬉しかった。

36 通学方法を配慮してくれた

#中学校 #校内教育支援センター

  困っていたこと

登下校の時間がずれると、人通りがない道を歩いて行くことに不安があった。

 うれしかった対応



自転車通学を許可してくれた。

中学校の校内教育支援センターを利用しています。せっかく子どもが行く気になっても親が送迎できない時はお休みして自宅で学習していました。登下校の時間がずれるので、日中でも人通りがない道を歩いて行くことに子どもも不安があったり、親としても心配はありました。このことを学校の先生方に相談したところ、自転車通学を許可していただきました。


ヘルメットも余っているものを貸し出していただけたり、先生方の柔軟な対応のおかげで、本人も前向きにマイペースに通うことができます。ありがとうございます。

37 通知表とは別で学期ごとに子どもの様子をまとめてくれた

#中学校 #校内教育支援センター

  **お子さんの様子**

校内教育支援センターに通っている。

 **うれしかった対応**



通知表とは別で、校内教育支援センターの先生
教科の担任の先生が今学期の記録をくれた。

毎学期ごとに、通知表とは別で、校内教育支援センターの先生、教科の担任の先生が子ども宛に「〇〇の記録」として、今学期にしたこと、できたこと、子どもへのメッセージ、を書いて渡していただいています。今まで小学校から欠席が多いため評価が 1.2 や斜線の通知表は、「ハンコ押してね」とだけ子どもから渡されてきましたが、「〇〇の記録」をもらってきた時は、「先生たちが作ってくれたよ」と嬉しそうに渡してくれて、家族で読んで、会話がはずみました。毎学期の楽しみになっています。


先生方の、子どもを理解しようとしてくれる態度や姿勢、気持ちがよく伝わり、親としても安心して学校へ送り出すことができている。いつもありがとうございます。

38 コミュニケーションカードを使ってやりとりしてくれた

#中学校 #コミュニケーションカード #聴覚

  **困っていたこと**

ザワザワした環境や緊張する場面では、聞き取りが十分にできないことを悩んでいた。

 **うれしかった対応**



担任の先生がコミュニケーションカードを使って子どもとやりとりしてくれた。

聞き取れないことを伝えていたら、担任の先生がコミュニケーションカードを使って子どもとやりとりしてくれた。ザワザワした環境や緊張する場面では、聞き取りが十分にできないことを本人は悩んでいた。(自然体験授業の時)「わかった？わからない？」カードや、「困ってる？困ってない？」選択できるカードを提示してくれた。


本人は困っていることを口に出して表出できないので、先生から提示してくれて助かった。聴覚情報を処理するのが、負担なので視覚情報にしてもらえて助かった。

39 家庭訪問時に事前に「無理に出てこなくていいよ」と言ってくれた

#中学校

  **困っていたこと**

担任の先生がどんな先生なのかわからず、家庭訪問を心配していた。



 **うれしかった対応**

担任の先生が家まで手紙を届けてくれる時に、「無理に出てこなくていいよ」と事前に言ってくれた。


担任の先生が家まで手紙を届けてくれる時に、「無理に出てこなくていいよ」と事前に言ってくれた。どんな先生なのか、学校に行かないから怒られるのか、とても心配だったので、なにも言わないでくれたことがよかった。無理な時は無理と自己決定できることが大切だと思うので、先生と会わない選択を自分でできたことがすごいと思った。先生に「せっかく行ったのだから、出てきて」という圧がなかったことがありがたかった。

40 校外学習の全行程について参加できるかどうか確認してくれた

#中学校 #校外学習

  **困っていたこと**

校外学習に行きたいけど、すべての行程に参加できるか心配だった。

 **うれしかった対応**

担任の先生が行程をしおりを見ながら、参加できるかどうかを一つひとつ確認してくれた。



校外学習に行きたいけど、すべての行程に参加できるか心配だった。担任の先生が行程をしおりを見ながら、参加できるかどうかを一つひとつ確認してくれた。

自分ができそうなこと、出来なさそうなこと、を自己決定できてよかった。行動する場所、場面を細かく説明してくれて、その場合どのような選択肢があるかも提示してくれたので、3つくらいの中から選べてよかった。


行きたいけど、全ては無理。という場合に、1か0かではなく、0.5の選択肢があることは大変ありがたい。

41 担任の先生が子の障害特性のテレビ番組をみてくれた

#中学校

  困っていたこと

困っていることを話せずにいた。

 うれしかった対応



子どもの障害特性のテレビ番組を見て、わかろうとしてくれた。

担任の先生が、子どもの障害特性のテレビ番組を見てくれた。「○○○な状態なの？」と優しく聞いてくれて、『うん。いつもそういうことで困ってる』と話せた。


自分のことをわかろうとしてくれる気持ちがあるのだなと嬉しく思った。先生と話したあとから、学校の授業をオンラインで受けてみようかな。と言い出した。自分をみている安心感がうまれたのかもしれない。

42 オンライン授業の参加についてわかりやすく教えてくれた

#中学校 #ICT

  困っていたこと

長期間登校していないのでどんな教科があり、どんなやり方なのか検討もつかなかった。

 うれしかった対応

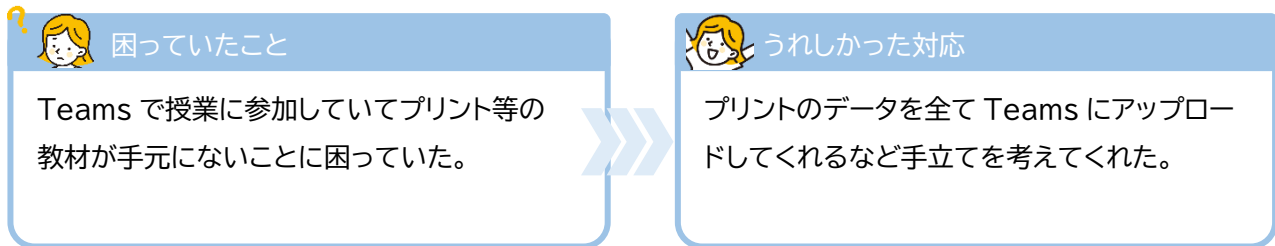
teams のやり方や教科の選択などわかりやすく教えてくれた。

オンラインだったら授業を受けてみようかなと本人が言ったので、担任の先生に伝えたところ、すぐにteamsのやり方などを教えてくれて、準備してくれた。

自分が参加できそうな教科だけ選択して参加している。「どの教科に参加する？」「画面映さなくてもいいよ」「答えなくても大丈夫」と参加のハードルを下げてくれたので、本人は選択しやすかったようだ。本人は長期間登校していないのでどんな教科があり、どんなやり方なのか検討もつかないので、選択肢を提示してくれてありがたかった。

43 オンライン授業で使う教科書以外の教材の共有方法を考えてくれた

#中学校 #ICT



登校が難しいため Teams で授業に参加させていただいています。初めは、教科書以外の教材(プリントなど)が手元にないことにとても困りました。Teams で見せて頂いていることで既に配慮していただいているのにこれ以上何かお願いしていいものか?と迷いましたが、思い切って困りを担任の先生にお伝えしたところ、一緒に手だてを考えてくださいました。

教科によっては予め、プリントのデータを全て Teams にアップロードして下さったり、また、配布のタイミングで都度、写真を撮ってチャットに送って下さったり、という配慮をしていただけるようになりました。そのおかげで今では、教室にいるほかの生徒さんと同じようにプリントに書き込んだりして提出する、ということがアプリを使ってできています。

あるとよい配慮を各教科の担任の先生方に共有して下さった担任の先生、そして実際に配慮してくださっている各教科の先生方にはとても感謝しています。

このような形でリモート参加が叶っているのは、画面の向こうから参加している生徒に対しても先生方が配慮、支援してくださっているからであり、そしてまた、プリントの画像のやり取りなどの間、授業が中断されてしまうこともある中、理解を示してくれているクラスメイトの皆さんのおかげでもあります。ありがとうございます。



44 担任の先生と生徒さんが協力してリモート授業に対応してくれた

#中学校 #ICT



困っていたこと

登校が難しいので支援クラスの授業をリモートで見ている。



うれしかった対応

担任の先生はチャットでやり取りをしてくれ、生徒さんたちもリモート参加の生徒がいることを心に留めてくれている。

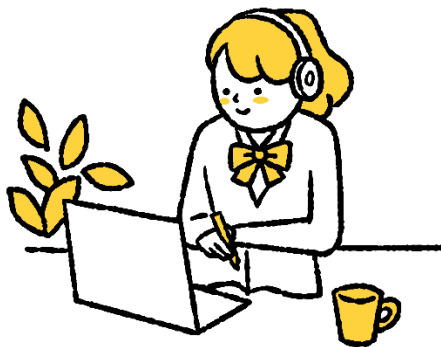
登校が難しいので支援クラスの授業をリモートで見えており、担任の先生はチャットで毎日やり取りをしてくださっています。おかげで、子どもは ASD(※)傾向がありコミュニケーションをとることが苦手ですが保護者を介してではなく自分で先生とやり取りできるようになりました。

教室移動の際には生徒さんが率先してパソコンを運んでくれて、授業の終わりには黒板の写真を送ってくれます。同世代のお子さんに関わるのが極端に苦手な特性がありますがクラスメイトにチャットで「ありがとう」とメッセージを送ってやり取りをしたりもできるようになりました。

クラスメイトの生徒さんは皆さん常にリモート参加の生徒がいることを心に留めてくださっている感じがして、本当に感謝しています。また、そのようなクラスづくりをされている担任の先生にもお礼がいいたいです。ありがとうございます。これからもよろしくおねがいいたします。

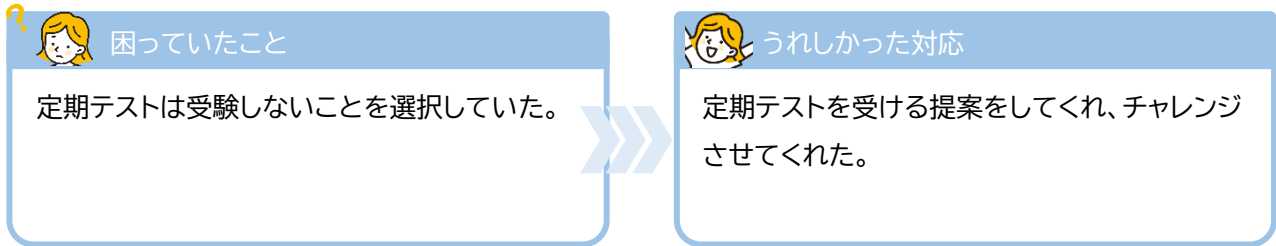
※ASD

自閉スペクトラム症のこと。ASD には、自閉症・高機能自閉症・アスペルガー症候群などが含まれます。文部科学省ホームページには「自閉症とは、①他者との社会的関係の形成の困難さ、②言葉の発達の遅れ、③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする発達の障害です。」と記載されています。



45 定期テストにチャレンジさせてくれた

#中学校 #テスト #合理的配慮



学校へは行かず、授業は自宅でリモート(Teams)で受けています。定期テストは受験しないことを選択していました。なぜなら、登校が難しく、別室だとしても学校や適応指導教室で受ける事は出来そうにない、また、学習障害がありオリジナルのままではテスト問題に取り組むことが難しい、と判断したからです。ある信頼している教科担任の先生から「せっかく授業にがんばって Teams で参加しているのだからテストを受けてみてはどうか?」「どんなやりかたでもいい、時間がかかっても、問題にフリガナを振ってもいい、問題文を読み上げてもらってもいい、回答はパソコンでもいい」とご提案をいただき定期テストにチャレンジしてみることに決めました。

問題文はルビをつけたり、大きく拡大したり、必要なところは読み上げ支援もしたりしてなんとか取り組めるよう配慮をしました。テストを全てやり終えるのに非常に時間がかかりました。テストを受けることが当たり前の普通に読み書きができる人には、想像もつかないような負荷がかかりましたが、これまでは「みんなと同じようにはできない」「やらない」を選択していたところから「やってみたら、なんとかできた」という体験ができたことは確実に成長に繋がったと思います。

このような声掛けをいただけたこと、また、子どもとの信頼関係を築いてくださったこと、ほんとうに感謝しています。学校全体での話し合いもあったのではないかと想像します、校長先生、教頭先生、そしてこのようなテストの受け方に理解を示してくださっている各教科担任の先生方にもお礼を言いたいです。ありがとうございます。

46 各教科の先生が子どもの苦手を理解し、授業の取り組み方を配慮してくれた

#中学校 #合理的配慮害



困っていたこと

子どもに対してどんな配慮が必要なのかよくわからなかった。



うれしかった対応

各教科の先生が子どもの苦手を理解し、授業の取り組み方を配慮してくれた。

読み書き障害がありますが、どんな苦手なのか？また、それに対してどんな配慮が必要なのか？を手探りして、必要な配慮がよくわからなかった頃は、とてもつらい学校生活だったと思います。「学校」が苦手になり、登校することが難しくなりました。正直、学校や先生には不信感しかなかった時期もありました。ですが、今は学習障害に配慮をいただいているおかげで、授業に興味を示し、積極的にオンライン(Teams)で授業に参加することができています。

- 理科の先生は板書の際に漢字にはふりがなをつけてくださいます。
- 国語の先生は漢字テストの際、読みの部分だけやることを肯定してくださいます。プリントは全て前もってデータをアップロードしていただきました。
- 英語の先生は小文字の認識が難しいため全て大文字でも OK と言ってくださいます。辞書の代わりにネットでの単語検索も肯定してくださいます。
- ALT(※)の先生は画面に向かって名前を呼んで、話しかけてくださいます。
- 社会の先生はパソコン入力でのノート(プリント記入)提出を肯定してくださいます。チャットで意見を聴いてくださいます。
- 美術の先生はデジタルでのデザイン作品を肯定して褒めてくださいます。
- 担任の先生は毎日、チャットで話しかけてくださり、コミュニケーションをとってくださいます。授業が見やすいようにとカメラやパソコンの位置を調整したり細かな配慮をしてくださいました。

教室で参加している生徒さんに加えてパソコンの向こうから参加している生徒がいることで先生方にはご負担をお掛けしていると思います。それぞれの教科の先生方が子どもの苦手を理解してくださっていること、また様々な配慮をいただいていることにとても感謝しています。

先生方が自分の苦手を否定せず受け止めてくださっていると、子どもには伝わっています。肯定してくださることで不安が減り、授業に気持ちが向いてきたのだと思います。

関わっている全ての先生方にお礼を言いたいです。ありがとうございます。これからもよろしくおねがいいたします。

※ALT

外国語が母国語である外国語指導助手のこと。Assistant Language Teacher の略称。



製作 我孫子市の多様な学び応援 トイロ
<https://toiro-kodomo.com/>

本冊子は令和5年度歳末たすけあい配分金事業団体助成金 および トイロ学び合い“合理的配慮を「社会モデル」で理解する”参加費により製作されています。